

「JA筑前あさくら農業ボランティアセンター」11月3日開設

農家の営農再開に皆さんの支援の手を・・・

この度の九州北部における記録的な豪雨により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

福岡県朝倉市は県下有数の農業地帯であり、梨やぶどうをはじめとする果物や、全国ブランドの「博多万能ねぎ」や「富有柿」を輩出するなど、農産物の産地として知名度を高めてきました。

しかしながら、今回の九州北部豪雨により、これらの果実園や田畑に大量の土砂や瓦礫が流入し、農家が農業を再開できない状況にあります。果樹園に流れ込んだ土砂や瓦礫は収穫の妨げとなるほか、樹木の生育にも影響を及ぼし、一部では立ち枯れも進んでいます。また、田畑に流れ込んだ大量の土砂は用排水を妨げ、次期の作物の育成ができない状況にあります。

このような、状況を一刻も早く改善することが、農家の営農再開に繋がり、農業を生業としている農家が「生きる力」を喚起するきっかけとなります。

農地・農業用施設の土砂撤去等は、JA筑前あさくらではこれまでJA職員をはじめ、福岡県内のJAグループ職員を中心に支援活動を行っており、NPO団体も各地域で支援活動を行っております。

しかし、被災範囲が広くJA職員・NPO団体だけでは限界があり、朝倉市と支援団体と協議を進め、今回「JA筑前あさくら農業ボランティアセンター」を開設することになりましたので、より多くのボランティアの方にご協力頂きたいと思っております。

◆ボランティアに関するお問合せ◆

JA筑前あさくら農業ボランティアセンター

住所：福岡県朝倉市宮野 2147 - 1 (JA筑前あさくら柿選果場内)

電話 1) 0946-23-8601 (11月7日から)

電話 2) 090-2465-0004 (11月末まで)

※電話 1・2 共に、10:00～15:00まで 毎週火曜日定休
活動開始) 11月3日(金)開始
4日(土) 5日(日) 毎週金土日活動予定

農家支援により営農再開ができるようになった農家は、「被害の大きさに今年の収穫をあきらめていたところ、農家支援により瓦礫や土砂の撤去ができ、営農を再開する目途が立ちました。生きていく力を皆さんからもらいました。」とおっしゃってました。

しかし、まだまだ支援を必要としている農家はたくさんいます。

一般ボランティアの方々の力を借りて、農家の方々を救済していきたいと活動開始します。

【設置主体】



JA筑前あさくら



朝倉市

【協力】

福岡県朝倉普及指導センター

エフコープ

JRVC チーム螢火

被災地医療支援チームそら

JVOAD (全国災害ボランティア支援団体ネットワーク)